

灯台からの響き

著者名：宮本輝
出版者：集英社

本の間から見つかった、妻宛ての古いハガキ。差出人は大学生の男。亡き妻の知られざる過去を追い、男は旅に出る。人生の価値を伝える傑作長編。

ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人

著者名：東野圭吾
出版者：光文社



殆どの人が訪れたことのない平凡で小さな町。寂れた観光地。ようやく射した希望の光をコロナが奪い、さらに殺人事件が…。犯人と探偵役、それぞれの仕掛けが張り巡らされています。騙されないように、お読みください。

自転しながら公転する

著者名：山本文緒
出版者：新潮社

東京で働いていた32歳の都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが…。恋愛、家族の世話、そのうえ仕事もがんばるなんて、そんなの無理！誰もが心揺さぶられる、7年ぶりの傑作小説。

満月珈琲店

著者名：桜田千尋
出版者：KADOKAWA

疲れた人だけが訪れることのできる『満月珈琲店』。やって来たのは、恋心に想いを馳せた少女。そして、夢破れ人生に悩む男女。運命が交錯する先にある未来は…。Twitterで話題のイラストレーター×大人気作家の心に響く珠玉のイラストストーリー集！

もしものせかい

著者名：ヨシタケシンスケ
出版者：赤ちゃんとママ社

もしもなにかをなくしたら。もしももどってこないなら。何度も読み返してほしい、ヨシタケシンスケが描く新しいものごたがり。

類

著者名：朝井まかて
出版者：集英社

鷗外の“不肖の子”類、その愛すべき生涯。愛情豊かな父、美しい母、ふたりの姉と何不自由なく暮らした少年時代。父の死という大きな喪失を抱えながら、画業を志しパリへ遊学した青年時代。戦後の困窮から心機一転、書店を開業。やがて文筆家の道へ—明治、大正、昭和、平成…時代の荒波に揺さぶられながら、鷗外の子としての宿命と格闘し続けたその生涯。

JR上野駅公園口

著者名：柳美里
出版者：河出書房新社



東京オリンピックの前年、男は出稼ぎのため、上野駅に降り立った。そして男は彷徨い続ける、生者と死者が共存するこの国を一。構想から十二年、柳美里が福島県に生まれた一人の男の生涯を通じて“日本”を描く、新境地！

この本を盗む者は

著者名：深緑野分
出版者：KADOKAWA

書物の蒐集家を曾祖父に持つ高校生の深冬。父は巨大な書庫「御倉館」の管理人を務めるが、深冬は本が好きではない。ある日、御倉館から蔵書が盗まれ、深冬は残されたメッセージを目にする。“この本を盗む者は、魔術的現実主義の旗に追われる”本の呪いが発動し、街は物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り元に戻らないと知った深冬は、様々な本の世界を冒険していく。やがて彼女自身にも変化が訪れて—。

2020年の恋人たち

著者名：島本理生
出版者：中央公論新社

出会って別れて、また出会って—あと死ぬまでに何度繰り返すのだろう。ワインバーを営んでいた母が、突然の事故死。落ち着く間もなく、店を引き継ぐかどうか、前原葵は選択を迫られる。同棲しているのに会話がでない恋人の港、母の店の常連客だった幸村、店を手伝ってもらったことになった松尾、試飲会で知り合った瀬名、そして…。めまぐるしく変化する日常と関係性のなかで、葵の心は揺れ動いていく—。

ノラネコぐんだんケーキを食べる

著者名：工藤ノリコ
出版者：白泉社

ニャー、ケーキおいしそう。1こたべてもいいでしょう？シリーズ最新刊。